

# 子どもの死とグリーフケアについて考える 交流講座

## 第13回 「愛娘との闘病生活で感じたこと 患者・家族と医療者の関係」

**内 容** 40度の熱が続き、徐々にぐったりしていく次女。最終的に下された診断はEBウイルス関連リンパ増殖性疾患でした。幸い、早い段階で専門病院へ転院させてもらえましたが、ステロイド、抗がん剤治療、3度にわたる移植、どの治療も先手を打ってしていただいたにもかかわらず、効果むなしく天国へと旅立ってしまいました。いのちを守ることはできませんでしたが、治療、次女に対する先生方・コメディカルの方々の対応、また、家族のフォローや幼い姉が病状を理解するためのフォローに関しても、感謝しかありません。長い長いベッドの上だけでの生活の中で、次女や、私たち家族にいただいたこと、私たちが感じたことをお話させていただきます。体験発表後は、参加者（医療者）同士のグループディスカッションも充実させます。

**発表者** 「小さいいのち」会員

**対象** 医療従事者 定員60人 要予約

**日時** 2018年7月16日（海の日）10:45～13:00 **開場** 10:30

※ この日は、講座終了30分後から、当事者（子どもの遺族）向けの講演があります。引き続きご参加可能です。おにぎりなどご持参いただければと思います。

13:30～14:30 「グリーフとは」 講師：柏木雄次郎氏（医師）

14:30～15:00 質疑応答

**場所** 関西学院大学梅田キャンパス 1405室 （茶屋町アプローチタワー14階）

**参加費** 小さいいのち（子どもを亡くした家族の会）の運営への支援として一口500円の寄付を3口（1500円）以上でお願いいたします。

**申し込み・問い合わせ** [s-ayumi@pop21.odn.ne.jp](mailto:s-ayumi@pop21.odn.ne.jp) 会代表 さかした ひろこ 坂下 裕子

**主 催** こども遺族の会「小さいいのち」 <http://www.chiisanainochi.org/>

